

小林の歴史を知ろう！②田の神像



田の神像は、田の神さあとも呼ばれ、皆さんにとって身近な文化財の一つだと思えます。市内には、約90体の田の神像があり、鹿児島県のほぼ全域と宮崎県では、小林・えびの・都城・三股・高原・綾・国富・高岡の地域に田の神像が見られます。なぜ、多くの田の神像が地域限定で作られたのでしょうか？

田の神像が作られるようになったのは、江戸時代の中頃からなのですが、この時代この地域は、薩摩藩領であったことに由来します。当時は、霧島の噴火などの天災が続き、人々は厳しい暮らしを強いられてきました。薩摩藩が収穫を増やすべく稲作を奨励したため、人々は、五穀豊穡の祈りや開田記念、山の神の怒りを鎮めるためなどの様々な願いを込めて田の神像を祀るようになったと言われています。田の神信仰は全国的な広がりをもち民俗信仰ですが、田の神の像を石で刻み、「田の神さあ」と呼んで田んぼの脇に祀るのは、旧薩摩藩独特の風習と云えます。

田の神像のある所、それは、かつて同じ藩内、同じ文化圏で生活をしてきた人々のつながりを示す貴重な文化財なのです。

田の神像の形は、「神官型」「農民型」「地蔵型」などがあり、江戸時代中頃から現在に至るまで作られていろいろなバリエーションの田の神像が存在します。皆さんの身近の「田の神さあ」はどんな形をしていますか？



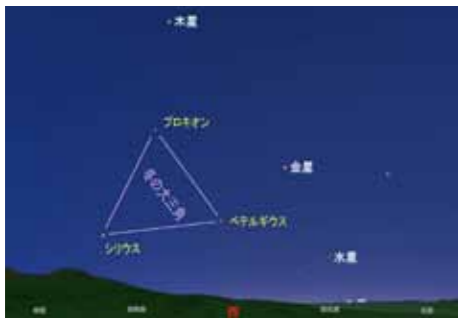
【享保5年作「新田場の田の神」(宮崎県内最古)】

日の入りが19時を過ぎるようになって、日の長さを感じる時季になりました。今月はなかなか目にする事ができない天体を観望する絶好の時期になります。ご案内しましょう。

その天体は、私たち地球と同じ惑星の仲間・水星です。水の星とは名ばかりで昼間の気温は約360度、夜はマイナス170度ほどの厳しい環境の星です。惑星の中で太陽に一番近いところを回っています。そのため、私たちから見る水星は、見かけ上、太陽からなかなか離れてくれません。太陽から離れる具合を見た目上の角度で表すと最も離れても27度程度で、この時期でさえも太陽が沈んで星が見える頃には、もう西側の山や建物などが迫っている位置になります。星図には水星の上に金星や木星が輝いています。これは惑星たちが見かけ上、星座の間を動き回るときの通り道です。太陽の通り道にも当

たるので黄道と呼びます。この時季は、この黄道が立っているために太陽から離れると見やすい条件が整うこととなります。太陽が沈んだ後、より高いところに離れるので観望しやすいというわけです。今回、水星が太陽から最も離れるのは5月7日ですが、5月9日(土曜)・10日(日曜)の19時30分から、通常の観望会に先立って水星観望会を開催しますので、ご参加くださいませ。

図／文：東 修一



5月10日19時50分頃の西天

天空の羅針盤

水星観望の好期！

問：北きりしまコスモドーム Tel. 27-2468

お知らせ：文中以外の今月の観望会は毎週土・日の20時～、21時～、と4月25日(土)～5月6日(水)は昼の部14時～15時、夜の部【平日は要予約】20時～、21時～。16日(土)は星空の夕べを開催。休館は5日を除く毎週火曜と7日(木)

Kobanabi

図書館からのお知らせ

探検しよう！本の森

こどもの読書週間にちなんで、職員おすすめの絵本、児童書をテーマ別に展示しています。(5月12日まで)

アンケート回収BOXを設置しました

「ブックスタート事業」の事後アンケートは、郵送の他、図書館の回収BOXに投函できます。

今月の著者紹介

一般閲覧室のコーナーで藤堂志津子氏の作品を展示しています。

●問・図書館カウンターまたはお電話(Tel.22-7913)で。

小林市立図書館

問：22-7913

◆今月のおすすめ～児童書～



「ごんごろじゃがいも」
作：いわさ ゆうこ
発行：童心社

ごんごろじゃがいもってなん味

◆今月のおすすめ～一般書籍～



「世界のじゃがいも料理」
編者：誠文堂新光社
発行：誠文堂新光社

◆今月の一冊～一般書籍～



「利休の闇」
著者：加藤 廣
発行：文藝春秋

秀吉と利休、本当は何かおきていたのか！

◆今月のおすすめ～一般書籍～



「春雷」
著者：葉室 麟
発行：祥伝社

◆今月のおすすめ～一般書籍～



「無限のピエ」
著者：朱川 湊人
発行：徳間書店

5月の休館日と開館時間

【本館】1日と毎週月曜

◆開館時間

9時～19時

日曜および祝日は17時まで

【須木分館・野尻分館】

1日と毎週月曜・祝日

◆開館時間

・須木：9時～17時

・野尻：10時～18時30分

※日曜は17時まで

国際交流『シャネットの徒然なるままに』



『猫憑き』



昔から猫が大好きです。頭がおかしくなるほど、大好きです。ところが、猫のせいで本当に頭がおかしくなるとは、思わなかったです。

小さいころ、実家に猫を飼っている間借り人がいました。その猫飼いが引越すことになり、猫は飼えなくなりまして。置いていかれた猫を抱きながら、潤んだ目でママとパパを見上げて、「この子飼おうよ」と100回ぐらいお兄ちゃんとお私が切々と頼み込みました。こうして、4歳の私は「デニス」の飼い主になりました。それから4年後の話ですが、ちよつとずつ体調を崩して、私はクマも飼いはじめました。2つの真つ黒いクマ。目の真下に！数ヶ月経っても、その状況が続き、ようやく血液検査

で病気が判明しました。トキソプラズマ症。猫はトキソプラズマという原虫の終宿主ですが、人に感染する可能性も低くはありません。健康な成人の場合には、感染しても症状がほとんどでないか、せいぜい数週間のあいだ軽い風邪のような症状が出る程度です。

治療後、私はトキソプラズマ症のことを長い間考えていなかったのですが、最近の研究で話題になり、思い起こされました。

チェコの寄生物学者の調査結果によれば、トキソプラズマに感染している人間の行動にはしばしば同じ特性がみられるそうです。例えば、男性は内向的で、疑い深く、反抗的で、女性は外交的で、従順で、世話好きで、容姿に気をつかうような人が多いそうです。

私は、8歳のころ、感染しなければ、日本に来るような活発な人にならなかったのでしょうか？